

【榛東村】
校務 DX 計画

1. 校務 DX を推進する上での現状と課題

令和6年度「GIGA スクール構想の下での校務 DX 化チェックリスト」による自己点検の結果によると、本村は、大型掲示装置や超高速インターネット、無線 LAN などのハード面での整備が計画的に進められているため、群馬県の平均と同等程度となっている。また、校務支援システムの導入により、児童生徒の成績、出欠又は学籍に関する情報等が統合的に管理されることにより、教職員の校務の効率化が進められ、業務負担軽減につながっている。

課題としては教職員のDX活用能力に個人差があることや、校務系ネットワークと学習系ネットワークが分断されていること、押印等の従来型業務が必要となる書類などがあることである。

2. 校務 DX の課題解決、次世代の校務デジタル化

DX活用能力における個人差を解消するためには、教職員のDX活用能力の向上を図っていく必要がある。効果的・効率的に活用するための研修を適宜実施していく必要がある。

校務系ネットワークと学習系ネットワークの分断については、セキュリティの都合上、交互にアクセスできない設定となっているが、先進自治体の事例等を参考にしながら、セキュリティ対策を十分に講じた上で、統合を検討していきたい

押印等の従来型業務については、内規の改正を行う等、ルールの見直しを図っていけるようにしたい。